

橋梁補修設計の1例

1959年に架橋された橋齢58年の橋長16.9m、幅員4.8m、斜角45の2径間単純RC T桁橋補修設計を平成26年度に、工事を28年度行いました。橋脚及び主桁・床版に剥離・鉄筋露出が多くあり、モルタル吹付工法（乾式）で断面修復を行いました。

補修前	補修後
	
	
	